




赤い羽根共同募金

# 福祉ちば

No. **158**  
2013.7.1  
発行

千葉県社協 検索

編集・発行  社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会



相談を見守る匝瑳市のご当地ヒーロー、ハリキリ戦隊ソーサマン(P5)

## 2 特集

千葉県社会福祉協議会、白戸章雄新会長を迎え  
菜の花コミュニティプラン3rdステージ  
2年目の取り組みを加速中!

## 4 フィールドスタディ

日頃の見守り・支え合いを築く～匝瑳市～  
そうさし

## 6 県社協ニュース

## 7 情報FLASH

## 8 届け! 私たちコミュニティ ソーシャルワーカーの思い①

Contents: 目次

# 千葉県社会福祉協議会、白戸章雄新会長を迎え、 菜の花コミュニティプラン3rdステージ 2年目の取り組みを加速中!

特集

## 会長就任のごあいさつ



会長 白戸章雄

本年2月に千葉県社会福祉協議会会長に就任いたしました白戸章雄でございます。会長就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

今日の地域社会は少子高齢化の進行や一人暮らし世帯・核家族世帯の増加等を背景に支え合いの力が弱まっており、自殺や虐待、生活困窮といった様々な問題が顕在化してきています。

こうした社会情勢の変化を踏まえ、千葉県社会福祉協議会では平成24年度からの3年間の活動計画「菜の花コミュニティプラン3rdステージ」を6つの基本目標と14のアクションプランで策定しました。

今年度は計画2年目であり、様々な関係団体との連携・協働を深めながら、生活困窮者への支援を始め、防災等の諸問題に対する取り組みを加速し、県内地域福祉の推進を図っていきたくと考えております。

結びに、千葉県民の福祉の向上に向けて職員共々一層努力して参りたいと存じますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

## 菜の花コミュニティプラン3rdステージの基本理念と取り組みについて

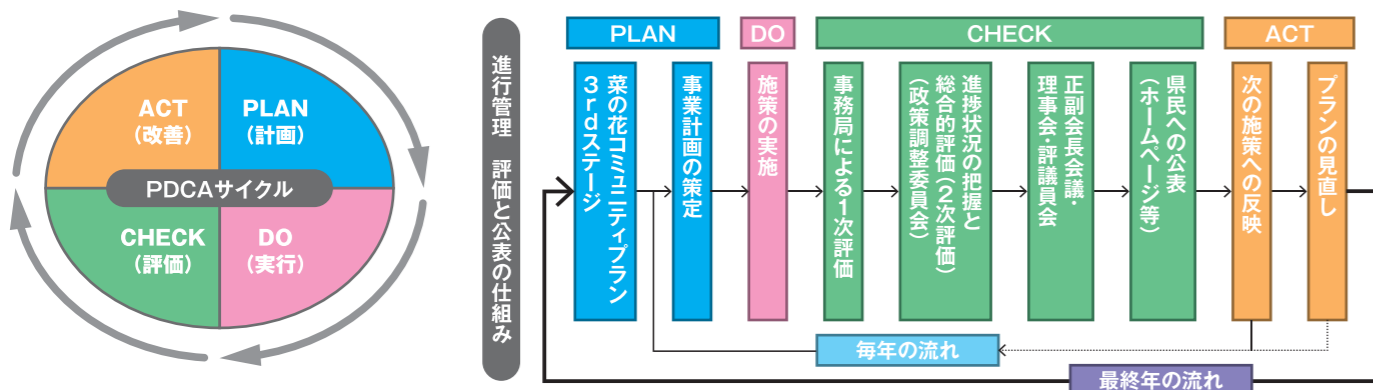
本計画は「全県的な立場から、幅広い関係者との連携と協働のもとに、地域の福祉課題の解決と福祉人材の育成に組み込み、誰もが自分らしく、この千葉で暮らし続けることができる地域社会の実現に貢献すること」を基本理念とし、6つの基本目標と14のアクションプランで構成しています。千葉県社会福祉協議会は役職員一丸となって本計画の推進に向けて取り組んでいます。

## 基本目標とアクションプラン14項目

<b>基本目標1</b> 地域福祉を推進するための市町村社会福祉協議会等との協働とその取り組みに対する支援 ①地域社会におけるネットワークの構築 ②地域福祉を総合的に推進するための人材育成 ③市町村社会福祉協議会に対する支援強化	<b>基本目標4</b> 福祉人材確保・養成機能の強化と福祉サービスの質の向上 ⑧福祉人材養成機能の強化 ⑨福祉人材確保対策の推進 ⑩福祉サービス事業者への経営支援
<b>基本目標2</b> 生活福祉資金貸付等を通じた総合的な相談・支援などの生活支援機能の強化 ④総合的な相談支援機能の充実 ⑤生活福祉資金貸付制度の機能強化	<b>基本目標5</b> 情報提供機能の強化 ⑪情報提供機能の強化
<b>基本目標3</b> 成年後見活動等の権利擁護機能の強化 ⑥日常生活自立支援事業の充実・強化 ⑦成年後見制度の利用支援	<b>基本目標6</b> 法人運営と経営基盤の強化 ⑫財政基盤の強化 ⑬信頼性と透明性の高い法人運営 ⑭事務局職員の資質向上

## 進行管理と評価

本プランを実現性の高い計画とするために、PDCAサイクルに加え、評価結果を公表することで、適切で透明性の高い進行管理を行っていきます。



## アクションプラン

### ③市町村社会福祉協議会に対する支援強化

#### ▶地域福祉フォーラムの助成方法の見直しによる設置促進と活動の促進

地域のさまざまな団体や住民との話し合いの場である地域福祉フォーラムへの助成方法を見直し、より活用しやすい財源に転換することで設置を進め、活動の促進を図ります。

#### ▶コミュニティソーシャルワーカー育成による専門性の向上と連携強化

地域福祉専門職としての専門性を高めるため、引き続きコミュニティソーシャルワーカーの育成に取り組みます。また、修了者による連絡会を新たに組織し、相互に連携しながら資質向上に向けた取り組みが進められる環境を整えます。



CSW専門研修での演習(事例研究)の様子

## 平成25年度関連事業

### ▶生活困窮者自立支援法とモデル事業の研究および支援

平成27年度施行予定の「生活困窮者自立支援法」のモデル事業が25年度から実施されます。本会では内部に検討会議を組織し、モデル事業の研究を進めるとともに、27年度以降市町村社協や社会福祉法人が円滑に事業を実施できるよう支援を行っていきます。

## アクションプラン

### ⑤生活福祉資金貸付制度の機能強化

#### ▶自立生活支援員の配置による相談機能の強化

生活福祉資金貸付制度において、本会では全国に先駆け、平成24年度に3市(千葉市、市川市、松戸市)に「自立生活支援員」を配置しました。自立生活支援員は借受人に対して償還を促すだけでなく、借受人に伴走する形で就労支援や家計相談支援も含めた自立支援を行います。25年度は新たに10市に支援員を配置する予定であり、すでに設置している相談員に加え、相談機能の強化を図ります。



市川市社協の自立支援相談員の厚東さん(左)と高松さん(右)

## 平成24年度(1年目)の評価

事業の進捗状況については、A評価およびB評価を合わせると88.7%であり、概ね順調に進行することができました。

主な成果としては、県内社会福祉協議会事務局長会を設置し、社協が直面する課題について協議、意見交換したこと、日常生活自立支援事業の全市町村実施体制に向けて各市町村社協へのアプローチを行い平成24~25年度にかけて10社協以上が事業を実施することとなったことなどが挙げられます。一方、地域福祉フォーラムの設置促進について、小域フォーラムの設置が伸び悩んだことや会員および賛助会員の数が伸び悩んだことなどが課題となっています。

## アクションプラン

### ⑨福祉人材確保対策の推進

#### ▶ハローワークとの連携強化による人材確保の推進



福祉のしごと就職フェアinちば(幕張メッセ)

25年度、県内すべてのハローワークにおいて毎月1~2回出張相談窓口を開設(内容・形態は場所により異なる)し、就職相談に対応することで福祉人材の確保を進めています。

#### ▶メンタルヘルスサポート事業の実施

福祉施設などの従事者を対象に、産業カウンセラーおよび介護福祉士・看護師の有資格者が業務上および職場における人間関係等のメンタルヘルス相談を行い、人材の定着化を支援します。

## アクションプラン

### ⑩福祉サービス事業者への経営支援

#### ▶経営指導と経営診断による継続した経営支援

法律・労務・会計の各専門家による経営相談と、中小企業診断士による経営診断事業を通じて、安定した法人運営が行えるよう支援します。

## 平成25年度関連事業

### ▶社会福祉法人・福祉施設による社会貢献への取り組みに対する支援

社会福祉法人・福祉施設が地域社会が直面する生活課題に対し、どのように社会貢献に取り組むかを検討・協議する場を設定します。また、千葉県社会福祉法人経営者協議会をはじめ業種別協議会と連携して社会貢献の取り組みを支援していきます。

## 社会福祉施設経営相談専門家相談カレンダー(平成25年度)

月	会計等	労務等	法律
7月	1日☑、16日☑	3日☑、17日☑	10日☑、24日☑
8月	5日☑、19日☑	7日☑、21日☑	12日☑、28日☑
9月	2日☑、17日☑	4日☑、18日☑	11日☑、25日☑

◎要予約。一般相談・予約は043-245-4450 社会福祉施設経営相談室まで

**解説** ※「生活困窮者自立支援法」とは第183回通常国会に提出された法案。生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対して自立相談支援事業を実施するほか、住居確保給付金の支給やその他支援を行うための所要の措置を講ずるもの。生活保護法の一部を改正する法律案と並行して審議された。(平成25年6月26日廃案、秋の臨時国会に再提出される見通し)

区分	評価	割合
A	計画通り	44 62.9%
B	50~100%の実施	18 25.8%
C	1~50%未満の実施	8 11.3%
D	未実施	0 0%
計		70 100.0%

# 日頃の見守り・支え合いを築く

そうさし  
匝瑳市社会福祉協議会



人口減少、地縁の希薄化、社会的孤立、買い物困難。こうした社会や地域の課題が明らかになる中で、匝瑳市では、市内11の地区社会福祉協議会と匝瑳市社会福祉協議会が地区や住民に働き掛け、見守りや支え合いを築き直し、誰もが安心して生き生きと暮らすことのできるまちづくりを進めています。今回は、地域福祉フォーラム、安心生活創造事業などを通じた地域づくりの展開を中心に紹介します。



匝瑳市社会福祉協議会(以下、匝瑳市社協)と11地区社会福祉協議会(以下、地区社協)はいきいきサロン、サテライトデイサービスなどの取り組みを展開しています。「地域福祉フォーラム」には、これまで5地区が取り組み、地区の協働の推進体制の設置などを進め、平成22年度からは民生委員と連携して「あんしん箱事業」を展開しました。また、平成24年度からは厚生労働省のモデル事業である「安心生活創造事業」を開始しています。

匝瑳市では全11地区で安心生活創造事業を展開。見守り支援「要援護者台帳作成事業」と買い物支援「宅配電話帳事業」を行い、地域の支援体制と支援を継続していく仕組み作りを目指しています(見守りの対象は、①70歳以上のひとり暮らしの高齢者、②75歳以上の高齢者世帯、③障害のある人、④そのほか見守りが必要と思われる人)。具体的な進め方は各地区で話し合い、自分たちの地区に合った方法で取り組みを展開しています。

## 豊栄地区の取り組み ～安心生活創造事業～

豊栄地区には農業が盛んな地域、新興住宅地、公営住宅があり、中には高齢化率が50%を超える集落もあり少子高齢化が進行しています。

同地区では、豊栄地区社協が中心となって安心生活創造事業を推進し、平成24年10月から要援護者台帳作成を開始しています。6人の民生委員が担当地域の対象者を一軒、一軒訪問し、本人の意向を確認していきました。地区社協では、これまでに高齢者に防災ライトラジオを配布する事業、あんしん箱の配布を進めており、そのつながりが今回の取り組みに大変有益でした。



しかし、地区内の公営住宅では住民の転出入があり、住民も近隣の状況を把握できていない状況がありました。そこで公営地区のサテライトデイサービスに参加している人たちの中でリーダー的な存在の人と話し合い、彼らに推進役(高齢者グループのチーフ)として協力してもらい、民生委員と共に要援護者の把握と同意確認を進める工夫をしました。

こうして事業開始から約2カ月後には、本人から聞き取りをした情報を基に「要援護者台帳・マップ」を作成することができたのです。

今後も、この事業の周知と要援護者の把握を続け、さらには各関係団体と協働の下、地域全体で活動を進めていく予定です。



### 豊栄地区社協会長、豊栄地区民生委員児童委員協議会会長 平山瑞子さん

「当初、「自分たちにできるだろうか」と感じていましたが、事業の目的をみんなで理解する間に意欲が出てきました。その結果、要援護者台帳・マップの作成後の地区社協総会はとても盛り上がりました。それぞれに達成感を感じてくれたのだと思います」

※1 厚生労働省が選定する地域福祉推進市町村が実施するモデル事業。悲惨な孤立死、虐待などを1例も発生させない地域づくりを目指す。  
 ※2 県内で進められている、地域のさまざまな立場の人が集い、新たな地域の協働体制を築き、地域のあり方・取り組みを検討していく取り組み。  
 ※3 あんしん箱とは、本人の既往歴・服薬状況・緊急連絡先等の情報と避難・入院先で必要な備品をひとまとめに保管しておく段ボール製のツール。対象者・希望者の把握は民生委員が実施。調査により、事業開始前に想定していた3倍の900人がひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯であることが分かり、現在、1,200人以上が活用している。



買い物支援は全市域の範囲で進めています。地域の商店が「そうさ見守り協力店(仮称)」として買い物が困難な人の宅配ニーズに応えるとともに、日頃の生活で要援護者に変化を感じることがあれば安否確認などにつなげる体制づくりを目指しています。同時に地域活性化につなげたいという思いもあります。市社協・商工会・市が協議し、対象店舗を選定。市社協職員が地域の商店を訪問して事業の参加希望を確認します。現時点で91店舗が協力店となっています。今後、要援護者に宅配電話帳を配布し、買い物支援を開始する予定です。

今後の重点課題は、協力者の確保などです。事業全体で要援護者は1401人登録していますが、協力者は延べ1477人、実人数は685人です。

「こうした現状を地域に返して、住民と一緒に考えていきたい」と匝瑳市社協事務局長の木野則男さんは言います。また、調査を通じて、情報から取り残されている人が少なくない状況が明らかになりました。同時に住民票とは違う居住地で暮らしている人や家族が複合ニーズを持っている世帯などの住民の困り事や地域の課題が発見されることもありました。住民主体で課題解決が困難な場合には市社協とも相談しながら本人と地域と一緒に課題解決を目指します。



匝瑳市社協事務局長  
木野則男さん



同市社協地域福祉班  
高橋 永さん

「地域の状況把握、情報共有を地域の目によって実施したことが多くのニーズをキャッチする基盤構築には肝要でした」と匝瑳市社協地域福祉班の高橋永さんは言います。

さらに、宅配電話帳だけでは買い物支援や見守りをカバーしきれない状況もあります。互いに助け合い、地域に暮らし続けるためのつながりと知恵を出し合う取り組みを進めています。

さらに、宅配電話帳だけでは買い物支援や見守りをカバーしきれない状況もあります。互いに助け合い、地域に暮らし続けるためのつながりと知恵を出し合う取り組みを進めています。

## 地域福祉フォーラムにも取り組んでいます! ~須賀地区~



須賀地区では平成23年度から地域福祉フォーラムを開始しています。話し合いの結果、同地区地域福祉フォーラムでは、普段の見守り、近所の付き合い、人と人の絆を深めていくことが目標になりました。主な事業として高齢者の居場所づくりとして、ふれあいサロンの新設や引きこもり予防としてのバスハイクを実施しました。また、サテライトデイサービスに参加している高齢者の方が小学1・2年生に昔の遊びを教えたり、給食を一緒に食べたりするなどの世代間交流事業も行いました。

また、地域福祉フォーラムを基盤として安心生活創造事業に取り組んだことにより、より地域が活性化するための相乗効果を得ることができました。

事業を通して、地域住民の状況が見えてきた反面、地域の方々には私たちの活動を伝えきれていないという課題も明らかになりました。平成25年度からは周知の範囲を広げていくことを目標にしています。

5年・10年後に、地域でどのように支え合っていくのか、今から考えるために、見守り合い・支え合いの地域づくりを一步一步進めようとしています。

### 須賀地区社協委員、同地区民生委員児童委員協議会会長 鈴木勇さん

「地域の各団体の皆さんに周知し、同じ認識を持てるようになれば、協力者も出てくると考えています。若い人たちも何かしたいという意識を持っています。まずは、ちょっと顔を見に行ったり、縁側でお茶を飲んだり、そうした関係を作っていきたいです」



地域DATA (2013年4月1日現在)		
匝瑳市	人口 39,454人	高齢化率 28.4%
豊栄地区	3,946人	21.3%
須賀地区	3,421人	27.1%

**表紙解説**  
ハリキリ戦隊ソーサマンは、匝瑳市民のために活躍しています。匝瑳市の平和を守る「ソーサレッド」、環境を守る「ソーサブルー」、健康を守る「ソーサイエロー」の3人そろって(一人前)の「ソーサマン」です。

## 県民の日 山武地域行事 「九十九里ビーチフェス」に出展!

5月25日に九十九里町片貝中央海岸にて開催された「九十九里ビーチフェス」において、本会および山武管内市町社協は、成



田国際専門学校、城西国際大学と連携して「福祉の“魅力”を感じてみよう!」をテーマに福祉関係ブースを出展しました。

ブース内では災害ボランティアに関するパネルの展示、山武管内市町社会福祉協議会の活動紹介のほか、「やさしい介護(快互)教室」や「福祉のしごと出張相談会」を開催しました。会場内では、地元の食材を使ったグルメで山武地域No.1を決定する「さんぶNo.1クランプリ2013」や取りたての野菜、水産加工品の即売をする「ビーチマーケット」などのイベントも行われ、大いに賑わいました。最優秀グランプリには密漁船のはまぐり丼が輝きました。



会場内では、地元の食材を使ったグルメで山武地域No.1を決定する「さんぶNo.1クランプリ2013」や取りたての野菜、水産加工品の即売をする「ビーチマーケット」などのイベントも行われ、大いに賑わいました。最優秀グランプリには密漁船のはまぐり丼が輝きました。

## 経営者セミナーを開催しました



武居 敏氏

6月11日、オークラ千葉ホテルにて「平成25年度千葉県社会福祉法人経営者協議会経営者セミナー」が開催されました。冒頭、厚生労働省生活困窮者自立支援室長 熊木正人氏から「生活困窮者自立支援法」の具体的な内容についての説明

がありました。

その後、社会福祉法人さくま理事長であり全国社会福祉法人経営者協議会 副会長の武居敏氏より「いま社会福祉法人に求められていること～社会貢献と生活困窮者への支援」をテーマに講義が行われました。武居氏は「現在、社会福祉法人では内部留保の問題が指摘されており、生活困窮者への支援については中間的就労としての就労機会の提



供や大阪府内で実践されている社会貢献事業(相談支援活動)等の取り組みが期待されている」と熱く語りました。

## 福祉施設・事業所の皆さん! 経営診断してみませんか?

### ～経営支援アドバイザー派遣事業のご紹介～

千葉県社会福祉協議会では福祉施設や事業所の経営の安定と改善に向けた支援として中小企業診断士を派遣し、人事労務や経営、財務、人材確保や定着などについてアドバイスをしています。

今回は、平成24年度に本事業を受診した社会福祉法人清峯会の鈴木将理事長に受診の感想を聞きました。

#### Q1 本事業を受診したきっかけについて教えてください。

A 私どもの法人では、特別養護老人ホームやデイサービスなどの事業を実施しています。平成23年度一部の事業で赤字となりました。赤字になるということは同時に介護の質の低下も危惧されるため経営の見直しが必要だと思い、受診を決めました。

#### Q2 申し込みから診断までの手続きはいかがでしたか。

A 特に面倒な手続きはなく、申し込みは簡単でした。実際に経営診断を受けるに当たっては、会計関係の書類を用意することと職員とのヒアリングを設定するなどの準備をしました。

#### Q3 経営診断を受けて変化はありましたか。

A 診断結果は非常に的確で抱えている課題が明らかになりました。また、結果を全幹部職員に配付し、経営会議を立ち上げました。指摘事項についてすぐに改善することはできませんが、会議を重ね少しでも経営が良くなるように努力しています。

#### Q4 本事業全体を通しての感想を教えてください。

A 通常でここまでの経営診断を受けるとなれば費用の負担は大きいと思うので、これを無料で受けられたことは大変ありがたかったです。職員へのヒアリングに少し抵抗を感じるかもしれませんが、施設の経営を見直すことはとても大切なことだと思います。



理事長の鈴木将さん



都苑

本事業に関するお問い合わせは…

千葉県社会福祉協議会 福祉サービス事業部 福祉施設経営支援班  
社会福祉施設経営相談室 TEL043-245-4450 まで

※なお、平成25年度については7月以降順次受付開始予定です。

## 中核地域生活支援センター大会 in 2013

- 日時 7月20日(土)10:00～16:00
- 場所 千葉市蘇我勤労市民プラザ 多目的ホール
- 参加費 500円
- 参加方法 7月10日までに申込用紙をFAX、メールで申し込み
- 内容 生活困窮や社会的孤立を生みだす要因、今、何を課題として捉え、どう活動すべきなのかを考える
- 問合せ先 さんぶエリアネット ☎0475-53-5208

## 第1回「福祉のしごと就職フェア・inちば」

- 日時 7月21日(日)13:00～16:00
- 場所 幕張メッセ国際会議場 コンベンションホール他
- 対象 社会福祉施設(事業所)等への就職希望の方(平成26年3月卒業予定の学生を含む)
- 内容 求人のある施設・事業所と個別面談、福祉の仕事に関する各種相談や福祉人材センターの求職登録
- 問合せ先 千葉県福祉人材センター ☎043-222-1294

## 小中学生福祉体験学習会 ～介助犬がやってくる～



- 日時 8月1日(木)13:30～15:30
- 場所 横芝光町 町民会館
- 参加方法 小中学生…各学校へ参加申込書を提出 一般…社協へ電話にて申し込み
- 内容 介助犬を知ろう、介助犬についての講話、デモンストラクションなど
- 問合せ先 横芝光町社会福祉協議会 ☎0479-80-3611

## とうがねボランティアセンター夏まつり

- 日時 8月3日(土)10:00～14:00
- 場所 東海市保健福祉センター
- 内容 ステージ、遊びの広場、各種模擬店、農大による販売、映画、骨密度チェック、おにぎりづくり体験など
- 問合せ先 東海市ボランティアセンター ☎0475-52-5198

## 四街道市社協まつり

- 日時 10月20日(日)10:00～14:00
- 場所 四街道市総合福祉センターおよびその周辺
- 内容 社協やボランティア活動のPR、福祉作品の展示、関係団体による出店、市内最大規模のバザーなど
- 問合せ先 四街道市社会福祉協議会 ☎043-422-2945

## 身障者のための無料運転教習

- 自動車運転免許を取得したい身体障害者に運転教習を行っています。
- 訓練期間 3カ月(入所日は1、4、7、10月初め)
  - 場所 身体障害者運転能力開発訓練センター(東園:あずまえん) 埼玉県新座市堀ノ内2-1-46
  - 対象 公共職業安定所に求職登録している身体障害者の方で、就職活動中の人。または免許取得により職業生活の安定が期待される就業中の人で事業主が入所を承諾した人
  - 内容 教習期間中の教習費は無料(但し、検定料などの一部自己負担あり)、寮あり、申し込みの締め切りは前月10日、詳細は下記まで
  - 問合せ先 身体障害者運転能力開発訓練センター(東園) ☎048-481-2711

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

# ボランティア活動保険

全国170万人  
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>



### 特長は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

年間保険料 Aプラン…280円 Bプラン…420円 天災タイプもあります

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、取扱代理店にお問合せください。

## ボランティア行食用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

## 福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

## 送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

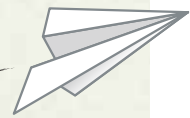
お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人  
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763  
(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社



社会福祉法人太陽会  
千葉県中核地域生活支援センター  
ひだまり  
コーディネーター 田中典仁さん

## 隠れたニーズを引き出す

現在、千葉県中核地域生活支援センターでの仕事は3年目になります。以前は、特別養護老人ホームやデイサービスに勤務していました。デイサービスで利用者の方を送迎しているとご家族や地域の方から福祉に関するいろいろな相談を受けました。そこで総合的に相談を受けることができる仕事がしたいと思っていたところ、今の仕事に出会いました。千葉県中核地域生活支援センターに寄せられる相談は福祉に関する内容に限らず離婚問題や消費者相談など多岐にわたっており、世帯全体を支援することが多いです。仕事は思っていた以上にハードですが、とてもやりがいがあります。

CSW専門研修は、職場の先輩から勧められて受講しました。5日間のプログラムの内容はとても充実していました。この研修を受講して課題を分析する力が強くなりました。また、地域にも視野を広げて仕事をするようになりました。少しの相談からそこに隠れているニーズを引き出していかなければならないと思っています。

地域の課題解決には課題を広く捉え、さまざまな関係機関と連携をしていかなければならないと思います。安房地域は若者離れが進み、新たな社会資源を開発していくことはとても難しいことだと思いますが、それらを問題提起していくこともCSWとしての大切な役割だと思っています。

これからもいろいろな人との関わりを大切にネットワーキングを広げていきたいです。また、私の原点は高齢者福祉にあると思っていますので、高齢者の分野についてさらに専門性を高めていきたいと思っています。そのために第一の目標として介護支援専門員(ケアマネジャー)の資格取得を目指しています。

### 千葉県中核地域生活支援センター

子ども、障害者、高齢者等誰もが、ありのままにその人らしく、地域で暮らすことができる地域社会を実現するために、24時間365日体制で福祉サービスのコーディネート、福祉の総合相談、権利擁護を行い、地域住民の福祉向上を図ることを目的として千葉県が独自に設置しています。県内には13カ所の中核地域生活支援センターがあります。

※コミュニティソーシャルワーカー(CSW)とは…地域の中で困りごとを抱えている人の課題解決に向けて関係機関と連携を図りながら支援しています。また、地域に必要なサービスを開発したり、地域の中で活動している人や団体などを結び付けたりすることでより暮らしやすい地域の仕組みづくりをする役割も担っています。

## いきいきはたらく

このコーナーでは県内の障害者就労施設を紹介します。  
今回は印西市の「**いんば学舎・オソロク倶楽部**」をご紹介します。

いんば学舎オソロク倶楽部は木々に囲まれた自然豊かな場所にあります。明るい店内に入ると焼きたてのパンやピザのいい香りとそこで働くメンバー(利用者)さんたちの素敵な笑顔が出迎えてくれます。オソロク倶楽部ではピッツァレストラン・パン工房の運営、農作業を主な活動としています。より多くのお客さまに足を運んでもらえるよう季節に合わせてメニューを変えているそうです。

土曜日は満席になることが多いので開店と同時のご来店をお勧めします。

### DATA

- 住所 〒270-1337 印西市草深485-3
- 電話 0476-36-7555(予約はこちらまで)
- 営業時間

ピッツァレストランPIZZERIA OSOROKU

11:00~15:30(木曜日 11:00~14:30) ※L.Oは各終了時間の30分前

石窯パン工房 オソロク倶楽部

11:00~17:00(木曜日 11:00~14:30) ※売り切れ次第閉店

- 定休日 日・月曜日(祝祭日は不定休)



- ①オソロク倶楽部外観
- ②ピッツァレストランで働くメンバーさん
- ③自家製ベーコンサラダ(800円)
- ④食ベログベストレストラン2010を受賞しました
- ⑤職員さん手作りのかわいい看板もお出迎え
- ⑥12時30分~13時頃にはすべてのパンが焼き上がります。
- ⑦大好評のマルゲリータ(単品900円)にオソロク産ナストッピング(+100円)

### 【平成25年4月から「障害者優先調達推進法」がスタートしました】

この法律は、障害者就労施設で就労する障害者や在宅で就業する障害者の経済面の自立を進めるため、国や地方公共団体、独立行政法人などの公機関が物品やサービスを調達する際、障害者就労施設等から優先的・積極的に購入することを推進するための法律です。